

宮城県心のケア（地域精神保健福祉活動）の取組

沿岸地域の精神保健福祉に関する課題

被災者の健康課題	乳幼児	育児の孤立化予防 「気になる児」の早期発見，早期支援
	学童思春期	不登校，児童虐待，ひきこもりの予防と早期介入 発達障害，知的障害などの支援の連携強化が必要
	成人	ひきこもりやアルコール依存症，生活困窮，キーパーソン不在 など多問題かつ複雑な問題
	高齢者	全地域で高齢化が進行，加齢に伴う認知症等の健康問題の増加， 孤独・孤立化，老々介護などの介護問題
	精神障害者	本人・家族の高齢化等の家族機能の脆弱化による問題の複雑化 未受診者の支援に加え，生活全般の支援が必要
	生活困窮者	経済的な問題の他に，健康や家族問題など問題が多様化 自ら問題を発信できずに孤立
	アルコール	家族の機能不全などから，問題が複雑化 飲酒問題に関する意識向上（アルコール依存症の予防対策）
	自死	若者や働き盛り世代の自死が多い 早期発見，早期介入のための普及啓発や連携体制の構築が必要
	ひきこもり	ひきこもり状態にある人の早期発見・早期介入

保健活動の体制の課題	震災以降に採用された保健師の増加 ・ 新任期の育成のための人材や時間の確保が困難
	被災者支援活動によって得られた活動の伝承 ・ 被災により健在化した育児や介護等の課題と孤立防止への取組 ・ 支援団体と連携して実施した取組の継承
	長期にわたる被災地活動による支援者の疲弊
	震災後に増加した健康課題に対応する専門職の不足 ・ 専門職の採用が困難

令和3年以降の取組の方向性及び主な取組

- 圏域の実情に応じた，地域や年齢による切れ目のない地域精神保健福祉活動の推進
- 身近な相談窓口等の資源の周知
 - 健康診断や相談等による心身の健康問題の早期発見
 - 訪問支援などの直接支援の充実
 - 精神保健福祉活動を行う事業者等の心のケアに関する支援力向上
 - 保健，医療，福祉サービスへつなぐ体制整備
 - 心のケアの支援を担う機関による支援や活動の協議の場づくり

- 地域住民のセルフケア力の増進
- 地域住民の普及啓発の実施と精神保健福祉活動への参画を図る
 - 地域の見守り支援体制や交流の場，地区活動，世代間交流の充実

- 地域精神保健福祉を担う人材を支え，支援力を向上
- 支援技術向上のための事例検討会や研修等の実施
 - 訪問支援の同行やスーパーバイズなどによる支援力の向上
 - 保健所・精神保健福祉センターの体制強化
 - 人材確保のための財政・人的支援の検討

地域住民や心のケアに携わる関係機関が，
ともに取り組む地域精神保健福祉活動を構築する。

令和3年度以降の各機関の役割

心のケアセンター	市町	保健所	精神保健福祉センター	精神保健推進室
<ul style="list-style-type: none"> 被災地域における業務移行を見据え，市町村，保健所，精神保健福祉センターと連携した「住民支援」，「支援者支援」「普及啓発」の実施 これまでの取組から得られた支援技術等の伝承 	<ul style="list-style-type: none"> 市町内のコーディネート 住民の身近な健康問題への相談・訪問支援 精神疾患や障害の正しい知識の普及啓発 各種サービス提供体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 圏域内の精神保健福祉のコーディネート 圏域内の関係機関連携会議等の実施と体制整備 アルコール相談・思春期相談など専門性の高い相談 緊急事例対応等の危機介入 精神保健福祉に関する市町への技術支援 	<ul style="list-style-type: none"> 県内全域の精神保健福祉の総合コーディネート 精神保健福祉に関する市町・保健所・関係機関支援者等への技術支援 精神保健福祉に関する普及啓発 調査・研究 	<ul style="list-style-type: none"> 心のケアのあり方を含めた精神保健福祉施策等の企画・立案及び総合調整 精神保健・医療・福祉に関する体制整備 移行期における市町体制整備に関する支援
子ども・家庭支援課				
<ul style="list-style-type: none"> 子どもの心のケアのあり方を含めた母子保健施策等の企画・立案及び総合調整 移行期における市町体制整備に関する支援 				